RIM INTELLIGENCE CO.
フェアな価格　確かな信頼

ポリオレフィン
Polyolefins

☆RIM POLYOLEFINS INTELLIGENCE DAILY
★No.3082 Apr 30 2020
Copyright(C) 2020 Rim Intelligence Co. All rights reserved.
—TOKYO, 18:30 JST Apr 30 2020<Assessment Closing Time>
「リム価格」は登録商標です　登録番号・第5387777号

◎お知らせ

○PRA原則遵守に関する検証報告書の公開

リム情報開発は2月27日、証券監督者国際機構(IOSCO)により定められた石油価格報告機関(PRA)に対する原則の遵守に関しまして、合理的保証に基づく検証報告書をウェブで公開しました。当社が発刊する全ての日刊レポートが対象となります。

<対象レポート>

バンカーオイル、原油・コンデンセート、アジア石油製品(Products)、LPG、ローリーラック、ジャパン石油製品、石油化学、LNG、電力

https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/pramenu4/

○ゴールデンウィーク期間中の休刊スケジュールについて

リム情報開発株式会社は、2020年4月29日(水)および、5月4日(月)から5月6日(水)まで、ゴールデンウィーク休暇のためポリオレフィンレポートを休刊させていただきます。休暇後の発行再開は5月7日(木)からとなります。当社ウェブサイトで、2020年の休刊スケジュールをご確認いただけます。下記のURLよりご覧ください。

https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/RimHolidayNotice2020JP.pdf

◎リムエネルギー総合指数22種(レックス22、2010年平均＝100)

30日のレックス22は、28日から2.39ポイント低下し42.49です

リムレポートのご紹介

リム情報開発のレポートラインアップは、下記のURLからアクセスください。各レポートのサンプルに加え、内容についての詳細な説明がご覧いただけます。

https://www.rim-intelligence.co.jp/first/report

原油・コンデンセート	アジア石油製品	バンカーオイル
ローリーラック(国内陸上)	ジャパン石油製品(国内海上)	LPG　LNG
石油化学	ポリオレフィン	電力
バイオマス(週刊)	デイリーデータ	Rim Data File
CROSS VIEW軽油	CROSS VIEW重油	エネルギー通信

上記に関するお問い合わせは、TEL 03-3552-2411　E-mail info@rim-intelligence.co.jp

Rim INTELLIGENCE Petrochemicals
3F Yaesudori Hata Bldg, 1 Chome 9-8 Hatchobori, Chuo-ku, Tokyo Japan
Tel:81-3-3552-2411 Fax:81-3-3552-2415 e-mail:info@rim-intelligence.co.jp

弊社レポートのゴールデンウィーク期間中の休刊スケジュールについては、表紙上の案内をご覧ください。

◎Olefins($/MT)

	CFR N.E. Asia	CFR S.E. Asia	FOB Korea
Ethylene	+ 380/390 +	+ 380/390 +	+ 370/380 +
Propylene	+ 700/720 +	+ 650/660 +	+ 670/690 +
Butadiene	+ 345/355 +	+ 345/355 +	+ 315/325 +

◎China Domestic(Yuan/MT)

	East China
Propylene	5,600/5,800
Propylene (Shandong)*	+ 5,850/5,950 +
Butadiene	+ 4,100/4,300 +
SBR	7,800/7,900
BR	7,500/7,600

*Shandong prices refer to ex-tank assessments in the Shandong area.

◎Polymers ($/MT)

	CFR China	CFR S.E. Asia	China Domestic*	USD^
LDPE(Film)	780/830	780/830	7,500/7,800	898 -
LLDPE(Film)	670/690	670/720	6,300/6,400	746
HDPE(Film)	700/750	700/720	7,000/7,300	840
HDPE(Yarn)	700/750	700/720	7,100/7,400	851 -
PP(Homo) - BOPP	800/820	+ 770/790 +	—	—
PP(Homo) - Yarn/INJ	780/800	+ 750/770 +	7,000/7,300	840
PP(Block Co) - INJ	830/850	+ 800/820 +	—	—

*Yuan/MT, ^USD calculated from China Domestic.

◎PVC and Feedstocks ($/MT)

	CFR China
PVC	640/660
Ethylene Dichloride	140/160
Vinylchloride Monomer	- 380/400 -

◎Weekly & Monthly Average**

	20.Apr - 24.Apr	Apr Ave.	20.Apr - 24.Apr	Apr Ave.
Ethylene	310/344	- 373/403 -	302/338	- 343/377 -
Propylene	634/666	- 617/647 -	584/606	- 569/589 -
Butadiene	350/370	- 385/409 -	350/370	- 385/409 -

	FOB Korea	
Ethylene	300/334	- 363/393 -
Propylene	604/636	- 587/617 -
Butadiene	320/340	- 355/379 -

	China Domestic*	
Propylene	5,600/5,900	- 5,668/5,840 -
Propylene (Shandong)	5,780/5,850	- 5,868/5,973 -
Butadiene	3,540/3,680	- 3,625/3,795 -
SBR	7,920/8,080	- 7,755/7,935 -
BR	7,620/7,720	- 7,420/7,585 -

	CFR China		CFR S.E. Asia	
	20.Apr - 24.Apr	Apr Ave.	20.Apr - 24.Apr	Apr Ave.

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

LDPE(Film)	780/830	- 780/830 -	816/866	- 836/876 -
LLDPE(Film)	696/734	- 677/717 -	682/724	- 697/743 -
HDPE(Film)	722/772	- 694/741 -	700/730	- 710/751 -
HDPE(Yarn)	722/772	- 694/741 -	700/730	- 710/751 -
PP(Homo) - BOPP	786/806	- 759/780 -	780/800	- 772/792 -
PP(Homo) - Yarn/INJ	766/786	- 739/760 -	760/780	- 752/772 -
PP(Block Co) - INJ	816/836	- 789/810 -	810/830	- 802/822 -

	China Domestic*	
LDPE(Film)	7,500/7,800	- 7,290/7,530 -
LLDPE(Film)	6,300/6,400	- 6,173/6,273 -
HDPE(Film)	7,000/7,300	- 6,975/7,195 -
HDPE(Yarn)	7,100/7,400	- 6,975/7,240 -
PP(Homo) - Yarn/INJ	6,780/7,080	+ 7,080/7,268 +

	CFR China	
PVC	648/ 660	- 714/ 726 -
Ethylene Dichloride	140/ 160	- 159/ 179 -
Vinylchloride Monomer	390/ 410	- 409/ 429 -

◎Spread/Olefins($/MT)**

	Ethylene	Propylene	Butadiene	Naphtha
Ethylene	—	-325 +	35 +	177 -
Propylene	325 -	—	360 +	502 -
Butadiene	-35 -	-360 -	—	142 -
Naphtha	-177 +	-502 +	-142 +	—

Calculated from the price difference between each product and CFR Japan Naphtha.

◎Spread/Polyolefins & Intermediate VS Feedstocks ($/MT)**

LDPE(Film)	412 -	PP/Homo(BOPP)	100 -	SM	208 -	EDC	38 -
LLDPE(Film)	314 -	PP/Homo(Yarn/INJ)	80 -	Phenol	246 -	VCM	147 -
HDPE(Film)	325 -	PP/Block Co(INJ)	95 -	PTA	65 -	PVC	256 +
				MEG	177 -		

Calculated from the price difference between each product and its feedstock.

**These are reference prices and not price assessments.

弊社レポートのゴールデンウィーク期間中の休刊スケジュールについては、表紙上の案内をご覧ください。

◎オレフィン
○エチレン

アジアのエチレン相場は北東アジア着、東南アジア着が380～390ドルで28日から35ドル高、韓国積みは370～380ドルで同35ドル高となった。需給バランスの緩和感が後退したことを受けた。

北東アジア向けの商談では、市場関係者から6月着が380～390ドルで成約されたとの情報が寄せられたが、それ以上の詳細については判然としない。売りアイデアは400ドル以上でもみられるようだが、この市場関係者は成約可能な水準としては380～390ドル程度との見方を寄せた。一方、別の市場関係者は6月以降のエチレンおよび誘導品の生産について、メーカー各社が確定していない状況にあるうえ、アジアの多くの国に今週公休日が予定されているため、ファームな商談に望みにくいのではないかと指摘した。ただ、市場では5月半ばまでに到着するカーゴを対象とした商談

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

でみられたような余剰感はすでに後退するとともに、ナフサクラッカーの定修要因が加わり、エチレン相場には先高観があるとの声も出ている。設備面では揚子 BASF のナフサクラッカーなど石化コンプレックスは足元で定修作業を開始しているもよう。期間は50日間と伝えられた。

東南アジア向けの商談は売買とも唱えは聞かれず。需要家のうちエチレンの在庫に余力のある向きは、足元の相場水準での買付けに興味を示しているもよう。ただ、新型コロナウイルスやラマダン入りなど需要を抑制する要因も懸念されており、買い気が強まるような状況にはないようだ。また市場関係者は中東からのカーゴが多くないため、東南アジアの相場は北東アジア並みの水準、との見方を示した。

○プロピレン

アジアのプロピレン相場は、北東アジア着が700～720ドル、東南アジア着が650～660ドル、韓国積みが670～690ドルといずれも28日比20ドル高。いずれも中国国内相場が堅調に推移することを受けた。

北東アジア市場では、中国国内相場がこのところ堅調に推移しているなか、売り手はアイデアを750ドルで提示しているもよう。しかし、同水準では成約困難と聞かれる。成約可能水準は720ドルが上限とトレーダー1社が伝えている。買いアイデアは依然として700ドル以下で聞かれる。市況連動価格では、北東アジア着市況に対し40ドル以上のプレミアムで売りアイデアが見られるもよう。

韓国積みでは、メーカー1社が29日に5月25～30日積み1,500トンを対象とする販売入札を締め切った。北東アジア着市況に対し20～25ドルのディスカウントで落札されたもよう。このほか、ファームな商談が聞かれず、北東アジア着に連動した。

東南アジア着は売り買いの唱えが薄く、北東アジア着につられる格好となった。

中国国内では、華東地域相場が5,600～5,800元と28日比横ばい。山東地域相場が5,850～5,950元と同50元高。山東地域では引き続き一部プロピレン設備が稼働停止していることを受け、供給に潤沢感が見られない。こうした状況下、山東地域の商談水準が5,900元前後となった。

○ブタジエン

アジアのブタジエン相場は、北東および東南アジア着が345～355ドル、韓国積みが315～325ドルといずれも28日比5ドル高。北東アジア着相場は中国国内相場が堅調に推移していることを受けた。東南アジア着および韓国積みは北東アジア着につれ高となった。

北東アジア市場では、このところ中国国内相場が堅調に推移するなか、売り手はアイデアを400ドル程度に引き上げようとしているもよう。しかし、5月中旬以降に輸入品が集中して到着する予定であるなか、タンクスペースに余裕がないため、需要家は輸入品に対する買い気が強くない。こうした状況下、6月着のインド品が350ドルで成約されたと聞かれる。市場関係者によると、買いアイデアが300～350ドル、売りアイデアが350～400ドルと350ドルを挟むところで商談されているという。

韓国積みでは、需要不振が続いているなか、一部メーカーにブタジエンの販売余力があるようだが、現時点で成約などファームな商談が聞かれず、北東アジア着に連動した。

東南アジア市場では、5月初め積みの域内品が390ドルで成約されたとの情報がある。ただし、これは何らかの事情がある特別成約と聞かれる。新型肺炎の影響で自動車産業が引き続き低迷しているなか、合成ゴムおよびブタジエンとも需要が振るわない。こうした状況下、商談可能水準は北東アジア着並みで維持されていると聞かれる。

中国国内では、華東地域相場が4,100～4,300元と28日比400元高。上述とおり、輸入品の到着が5月中旬以降となるうえ、国内の一部ブタジエン設備が5月に定修を予定しているなか、供給潤沢感が解消される可能性がある。一方で誘導品である合成

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

ゴムメーカーの採算性が良好なことを背景に中国石化が先行して工場出し価格を4,500元に引き上げた。これを受け、市場価格も4,100～4,300元に上昇した。

◎入札情報

Olefin Tenders					
Company	Buy/Sell	Quantity	Timing	Close	Price
	Cargo	Basis	Result	Validity	
Korean Supplier	Sell	1,500	25-30 May	29-Apr	CFR NEA -20～-25
	Propylene	FOB	Awarded		
PTTGC	Buy	3,500-5,000	16-18 May	29-Apr	
	Ethylene	CFR		30-Apr	
PTTGC	Sell	1,600-2,350	15-17 May	24-Apr	
	Propylene	FOB	Awarded		
PTTGC	Buy	3,500-5,000	5-9 May	23-Apr	
	Ethylene	CFR	Awarded		
Quantity mt, Source: Rim survey					

◎ポリオレフィン

中国向けのポリオレフィン相場はいずれも28日から変わらず。5月1日からの連休を前に相場に動きはみられない。高密度ポリエチレン（HDPE）Filmの商談ではインドネシア品が700ドルで成約が伝えられている。

東南アジア向けのポリオレフィン相場はPP Homo Yarn/Injection（Inj）が750～770ドル、BOPPが770～790ドル、PP Block Coが800～820ドルでいずれも28日から10ドル高となった。原油相場の堅調さを受けて売り手は強気姿勢を示している。ただ、需要は低調で買い手は売り手に追随していない。ベトナム向けの商談では、直鎖状低密度ポリエチレン（LLDPE） Filmの中東品が730ドル、HDPE Filmの米国品が740ドルで売り唱えられた。またPP Homo Yarn/Injのインド品は800～810ドルで売り唱えられたが、関税対象品に対する買い手のアイデアは750ドル程度にとどまっている。インドネシア向けの商談は動きがみられず。断食月（ラマダン）入りしているうえ、コロナウイルスの感染拡大に対する警戒感から、市場の動きは鈍いようだ。

◎PVCおよびPVC原料

塩ビモノマー（VCM）の中国着相場は380～400ドルと28日から10ドル安となった、誘導品である塩ビ樹脂（PVC）の需要が低迷していることを受けた。PVCの需要国であるインドなどで新型コロナウイルス対策が実施されており、世界全体でPVCおよび原料であるVCMの需要が低迷している。仮に都市封鎖などの対策が解除されても、すぐに需要が回復するかは不透明との見方が寄せられている。VCMの5月品の商談では、成約が350～400ドルの間で伝えられた。この成約以降は販売圧力が後退しており、売り急ぐVCMメーカーはみられない。このなか、仮に足元で商談を行う場合、400ドル以下で販売に応じる売り手はいないと市場関係者は伝えている。

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

◎マーケットニュース

○経産省＝3月の主要化学製品需給実績、化学工業統計速報

詳細は下記からご覧いただけます。
https://www.rim-intelligence.co.jp/news/data/1540074.html

○IMO説明会のDVDと資料発売のお知らせ

リム情報開発は2月14日に大阪で、国際海事機関(IMO)が1月から導入した船舶燃料の硫黄分規制の最新動向について説明会を開催しました。日本をはじめとした世界各国のIMO硫黄分規制への対応について、弊社の重油・バンカーオイル担当の小泉が分かりやすく解説し、来場者の方々からご好評をいただきました。また、都合により当日ご参加いただけなかった方々から、説明会の内容に関するお問い合わせも頂戴いたしました。そこで今回、講演を撮影したDVDと、会場で説明し切れなかった内容を追加した資料を販売いたします。

価格はDVDが1枚2,000円、資料が1部1,000円です。ご購入いただいた方には、もれなく当日の質疑応答の内容をまとめた付録資料をお付け致します。下記のボタンよりお申し込みください。
https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/imoDvd/

○『バイオマスレポート』発刊のお知らせ

リム情報開発は1月23日、発電用の木質ペレットやPKS(パームヤシ殻)の価格評価を開始しました。この価格評価や市場動向などを網羅した週刊『バイオマスレポート』を発刊し、関係者の皆様に役立つ情報をお届けします。世界的に環境問題に対する意識が高まる中、木質バイオマスを燃料とした発電所の建設が国内でも相次いでいます。これに伴い、木質バイオマスの価格動向に対する関心がかつてないほど高まっています。『バイオマスレポート』は、国際市場の動向に留まらず、国内未利用木材の動向や各種貿易統計、入札情報などを随時掲載していきます。

『バイオマスレポート』は毎週木曜日に発刊いたします。価格は毎月20,000円です。下記のリンクよりお申し込みください。
https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/bio/

○リム電力レポートの英語版発刊のお知らせ

リム情報開発は、2020年1月6日(月)よりリム電力レポートの英語版を発刊しました。日本の電力市場は、20兆円の市場規模と世界でも有数の規模を誇る中、2016年4月の電力小売全面自由化以降、海外の事業者からも新規参入の動きが相次いでいます。特に海外の事業者による卸電力市場への注目度は高く、日本の卸電力市場の動向を理解する上で、電力レポートの英語版を希望する声はこれまでも多くありました。このたび、こうした声に応えるべく、当社では英語版を発刊する運びとなりましたので、お知らせ致します。新たに発刊する英語版でも、日々の卸電力取引の動向を詳細に伝えるとともに、火力発電の動向、スパーク/ダークスプレッド、多種多様なグラフなど、日本語版と同様の情報を掲載して参ります。

詳細は電力チーム(03-3552-2411、info@rim-intelligence.co.jp)までお問い合わせください。

◇

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報を用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

事業所一覧

[東京本社] Tel:03-3552-2411, Fax:03-3552-2415
e-mail:info@rim-intelligence.co.jp
[シンガポール支局] Tel:(65)-6345-9894, Fax (65)-6345-9894,
e-mail:hagimoto@rim-intelligence.co.jp
[北京支社] Tel:(86)10-6498-0455, Fax:(86)10-6428-1725
e-mail: ma@rim-intelligence.co.jp huo@rim-intelligence.co.jp
[上海支社] Tel:(86)-21-5111-3575, e-mail:rim_sh@rim-intelligence.co.jp

(C) 2020 RIM INTELLIGENCE CO.

◇

※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報を用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

事業所一覧

[東京本社] Tel:03-3552-2411, Fax:03-3552-2415
e-mail:info@rim-intelligence.co.jp
[シンガポール支局] Tel:(65)-6345-9894, Fax (65)-6345-9894,
e-mail:hagimoto@rim-intelligence.co.jp
[北京支社] Tel:(86)10-6498-0455, Fax:(86)10-6428-1725
e-mail: ma@rim-intelligence.co.jp huo@rim-intelligence.co.jp
[上海支社] Tel:(86)-21-5111-3575, e-mail:rim_sh@rim-intelligence.co.jp

(C) 2020 RIM INTELLIGENCE CO.